

## 蒲田モダン研究会 発表関連年表

西暦	元号	出来事
一九〇一	明治三四	京浜電鉄蒲田駅が開業（現 京急蒲田駅）
一九〇四	明治二七	官設鉄道蒲田駅が開業（現 JR蒲田駅）
一九一三	大正二	黒澤貞次郎が黒澤商店蒲田工場の敷地買収を開始（現 新蒲田一丁目）
一九一八	大正七	株式会社新潟鉄工所が工場建設を開始する（現 蒲田本町一丁目） 田園都市株式会社が設立
一九一九	大正八	大倉陶園が工場用地を求め地鎮祭をする（現 西六郷一丁目）
一九二〇	大正九	高砂香料が設立（現 蒲田五丁目） 松竹蒲田キネマ合名会社蒲田撮影所が設立（現 蒲田五丁目） 鬼足袋工業が設立（現 大森西二丁目） 宮田製作所が六郷村雑色八幡塚に工場敷地入手
一九二二	大正一一	株式会社三省堂が工場用地を求め（現 仲六郷一丁目） 目黒蒲田電鉄が設立（現 東急多摩川線と目黒線） 池上電鉄が蒲田池上の単線運転を開始（現 東急池上線） 省線（現 JR）蒲田駅西口駅舎が完成 黒澤商店蒲田工場自家用水道工事を完成 目蒲電鉄調布（現 田園調布）駅にヨーロッパ風の駅舎が建設

## 大田区の近代化産業と世相の出来事年表

西暦	元号	出来事
一九〇六	明治三九	池上競馬場が荏原郡池上村に完成（明治四三年に廃止）（現 池上六丁目〜八丁目）
一九〇八	明治四一	東京瓦斯（株）大森製造所の建設が許可される
一九一一	明治四四	京浜電鉄が多摩川鉄橋を完成 六郷橋が仮設される
一九二二	明治四五	東京府と神奈川県の間を多摩川の中央と定める
一九二四	大正三	第一次世界大戦 始まる 鉄道院矢口発電所完成（関東大震災で倒壊）（現 多摩川二丁目トミンハイム）
一九二五	大正四	日本特殊鋼（合資）が大森町に設立される
一九二六	大正五	新井宿に現大田区内の最初の耕地整理組合が設立 大森地区に麻真田工業が盛んになり、全国一の生産額を誇る 羽田に日本飛行学校が開校
一九二七	大正六	東京瓦斯電気工業が大森海岸に工場建設 時事新報が中村研究所の設立を報じる （現 アロマスクエア・区民ホールアプリコ）
一九二八	大正七	第一次世界大戦終結

一九二五	大正一四	帝国女子医学専門学校が設立(現 東邦大学) 多摩川園が開園
一九二八	昭和三	池上電鉄 蒲田―五反田間が全通
一九二九	昭和四	黒澤商店蒲田工場内に私立黒澤尋常小学校が設立
一九三〇	昭和五	東京計器製作所が南蒲田に移転(現南蒲田一丁目) 水牛食品が設立 あかずの踏切解消のため省線蒲田駅に地下道が開通する
一九三二	昭和六	松竹蒲田製作の日本最初の本格的トーキー映画「マダムと女房」が封切 新家工業が移転(現 萩中二丁目) 東京飛行場(羽田飛行場)が開場
一九三三	昭和八	松竹蒲田・小津安二郎監督作品 「大人の見る繪本 生まれてはみたけれど」公開 東洋オーティスエレベーター蒲田工場が完成(現 仲六郷一丁目)
一九三四	昭和九	各務クリスタル製作所が設立(現 西六郷二丁目) 芹沢銈介 西蒲田に工房を設立 ミットヨが設立(現矢口一丁目)

一九一九	大正八	日本自動車学校が開校
一九二〇	大正九	日本飛行学校が閉校 第一回メーデー集会在上野公園で開催
一九二二	大正一一	現大田区域が、都市計画区域に指定
一九二三	大正一二	関東大震災 省線蒲田電車区(現JR東日本大田運輸区)開設
一九二五	大正一四	日本自動車学校内に日本飛行学校が再開 六郷橋(鉄橋)が完成
一九三〇	昭和五	昭和恐慌 満州事変
一九三二	昭和六	多摩川の六郷水門完成 多摩川にガス橋が完成
一九三四	昭和九	電業社原動機整備所が糞谷町に工場敷地を購入
一九三五	昭和一〇	日本精工多摩川工場が開設(現 下丸子二丁目)
一九三七	昭和一二	三菱重工業株式会社が丸子工場の操業を開始
一九三八	昭和一三	国家動員法が公布 大森機械工業徒弟委員会が創立
一九三九	昭和一四	大師橋が完成し産業道路が全通

西暦	元号	出来事
一九三三	昭和一〇	丸子橋開通
一九三六	昭和一一	松竹キネマ蒲田撮影所が大船に移転
一九三七	昭和一二	TDKの前身である東京電気化学工業が萩中町に工場を設立(現・萩中二丁目)
一九四一	昭和十六	太平洋戦争開戦
一九四五	昭和二〇	太平洋戦争終戦
一九四七	昭和二二	大森区と蒲田区が合併して大田区が発足
一九四八	昭和二三	三省堂蒲田工場が三鷹市に移転 跡地は、国鉄の社宅となる
一九六〇	昭和三五	旧京浜電鉄が京浜急行電鉄となる 大倉陶園が戸塚に移転
一九六四	昭和二九	跡地は、志茂田小中学校・蒲田自動車教習所となる 宮田製作所が移転 跡地は、第一パン→六郷工科高等学校となる

西暦	元号	出来事
一九四一	昭和一六	重要産業団体令が公布される 太平洋戦争開戦
一九四三	昭和一八	第二京浜国道の東京側が完成 軍需会社法が公布
一九四四	昭和一九	都内の軍需指定工場のうち現大田区域が四分の一を占める
一九四五	昭和二〇	四月、五月と京浜地区に空襲あり、大きな被害を受ける 太平洋戦争終結
一九四六	昭和二二	進駐軍日本特殊鋼株式会社羽田工場の立ち退きを命ず 現大田区域の各工場がなべ・弁当箱・フライパン・農機具・リヤカー・農耕用トラックの生産を手がける
一九四七	昭和二三	大森区と蒲田区が合併して大田区が発足
一九四八	昭和二三	三菱重工業下丸子工場が米軍の役務工場に指定

一九六五	昭和四〇	黒澤商店蒲田工場が移転 跡地は、富士通ソリューションスクエア
一九七六	昭和五一	新潟鉄工所が移転 跡地は、現UR蒲田本町二丁目団地
一九七九	昭和五四	株式会社新潟鉄工所蒲田内燃機工場跡地に建碑
一九八四	昭和五九	東洋オーテイスエレベーター株式会社蒲田工場が千葉に移転 跡地はマンション
一九八六	昭和六一	東洋オーテイスエレベーター株式会社蒲田工場跡地に建碑
一九九〇	平成二	各務クリスタル製作所が茨城県龍ヶ崎市に移転 跡地はマンション
二〇一一	平成二三	バブル経済崩壊・以後平成不況となる 東日本大震災
二〇二〇	令和二	新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう

参考資料

大田区史 下巻(大田区刊 一九九六)  
 工場のまちの探索ガイド(大田区立郷土博物館刊 一九九四)  
 大田区モノづくり(大田区産業振興協会刊 二〇一四)  
 まちがやって来た(大田区立郷土博物館刊 二〇一五)  
 工場がやって来た(廣瀬達志氏発表 二〇一五)  
 年表大田区工業のあゆみ(山本定男著)

一九五〇	昭和二五	朝鮮動乱が始まる
一九五一	昭和二六	「もはや戦後ではない」 経済白書
一九五九	昭和三四	工場制限法、立地法成立 新設拡充困難化へ 大田工業連合会創立総会が開催
一九六〇	昭和三五	大田区の産業会館が開館
一九六二	昭和三七	大田区の「製造出荷額」が東京二十三区第一位に 海苔の漁業権を放棄する
一九六三	昭和三八	「いざなぎ景気」 都高速道路一号线完成
一九六四	昭和三九	東京オリンピック開催
一九六八	昭和四三	日本特殊鋼株式会社が会社更生開始を申し立てる 日本のGNP世界第二位 昭和元禄全盛
一九七二	昭和四七	工場再配置促進法成立
一九七四	昭和四九	東京ガス株式会社大森工場コークスの炉の火を落とす
一九七七	昭和五二	京浜島工業団地連合会が創立
一九九〇	平成二	バブル経済崩壊・以後平成不況となる
一九九五	平成七	阪神淡路大震災
二〇一一	平成二三	東日本大震災
二〇二〇	令和二	新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう